

年	組	名前
---	---	----

自慢の手作りあんどんを掲げる杵築小5年生



26、27日「城下町杵築観月祭」

杵築市の秋の風物詩「城下町
杵築観月祭」が開かれます。
住民らは準備に追われています。

武家屋敷や石畳を優しく照らす

あんどんできたよ！

杵築市の秋の風物詩「城下町杵築観月祭」が26、27の両日、市中心部の城下町で開かれる。今年は約1万本のあんどんや竹灯籠が武家屋敷や石畳、坂道を優しく照らす。展示などで参加する住民は準備に追われている。

杵築市の杵築小学校では5年生84人があんどん作りにも挑戦。公民館の絵手紙教室の講師らに習いながら秋などのテーマにした絵を描き、骨組みに貼り付けた。月の絵を描いた末弘青楓君(11)は「きれいに仕上げることができた。自分たちが作品に込めた思いを感じてもらえれば」。

市内山香町のバラ園「ほんだバラ香園」は、きつき城下町資料館を舞台にさまざまなバラを使った展示を企画。庭の池にバラを浮かべてろうそくで照らしたり、ボックスフラワー作りの体験教室を予定している。同園の本田あけみさん(54)は「和風のイベントだが、

祭りは両日とも午後6時からスタート。26日の主なイベントは▽お茶会(午後5時半・一松邸、大原邸)▽俳画展示(同6時・中根邸)▽オカリナ演奏(同・磯矢邸)▽琴演奏(同・能見邸)▽影絵(同・綾部味噌)▽バンド演奏(同・カフエ笑食横)▽しの笛演奏(同6時半・一松邸)▽腹話術(同・丸越商店の前)▽ジャズ演奏(同6時45分・市役所前)」など。

27日は一部内容が変更される。問い合わせは市観光協会(☎0978・63・0100)へ。

(2015年9月24日朝刊14面)

バラを使った展示も

①観月祭が開かれる時季の月は、「何の名月」と呼ばれていますか。

.....

.....

.....

.....

③秋と言えば…何を思い浮かべますか。発表しよう。

.....

.....

.....

.....

②「あんどん」とは、どのようなものでしょう。

.....

.....

.....

.....